

## 説明会・教員面談・展覧会見学

入学説明会の参加や教員面談を希望される場合は、必要事項を予約フォームに記載し、申込期間内に必ず予約してください。

詳細は申込先URLおよび二次元バーコードより確認してください。

### [申込先]

<https://www.kyoto-art.ac.jp/graduate/admission/briefing/>

※教員面談の応募人数によっては個別面談ではなく、グループ面談になる可能性があります。

### お問合せ先

京都芸術大学 大学院 ☎ 0120-591-200 (アドミッション・オフィス) ✉ graduate@office.kyoto-art.ac.jp

受付時間：月～土 9:00～17:30 日曜・祝日・年末年始は受付できません。



通信制大学院 ☎ 0120-20-9141 ✉ tsushin@office.kyoto-art.ac.jp

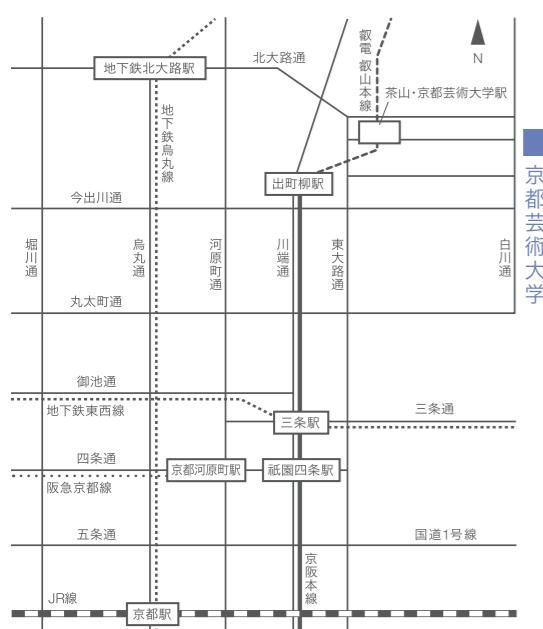
修士課程 芸術専攻(通信教育)に関しては、大学Webサイトを確認してください。

海外事務所 ソウル事務所 TEL: +82 70-7012-8260 ✉ seoul@office.kyoto-art.ac.jp

台北事務所 TEL: +886 975-922-905 ✉ c-wu@office.kyoto-art.ac.jp

上海事務所 TEL: +86 156-1801-0354 ✉ shanghai@office.kyoto-art.ac.jp

### アクセス



#### 京都・瓜生山キャンパス

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

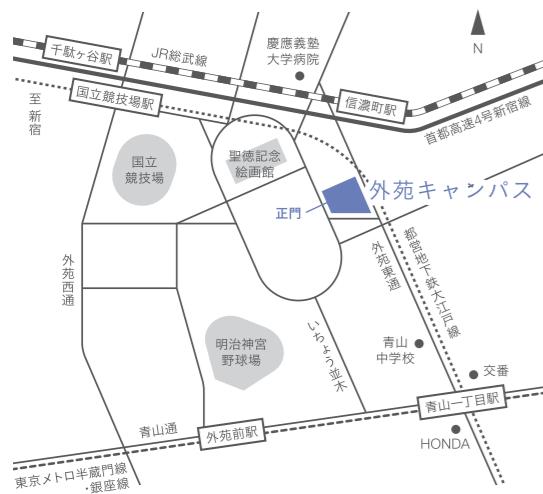
##### 【交通機関】

- 地下鉄「北大路駅」(北大路駅バスターミナル)より  
市バス204系統循環／  
銀閣寺方面「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車(所要時間約15分)  
※地下鉄北大路駅へはJR京都駅より約15分
- 京阪「出町柳駅」より  
市バス上終町3系統／上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前行  
「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車(所要時間約15分)  
叡山電車(京阪「出町柳駅」乗りかえ)「茶山・京都芸術大学駅」下車後、徒歩約10分
- 阪急「京都河原町駅」より  
市バス5系統／  
銀閣寺・岩倉行「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車(所要時間約30分)  
市バス上終町3系統／  
上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前行「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車  
(所要時間約30分)
- JR「京都駅」より  
市バス5系統／銀閣寺・岩倉行「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車(所要時間約50分)

※所要時間はあくまで参考としての標準時間です。

※本学には駐車場がありません。車・オートバイ・自転車での来学はご遠慮ください。

※本学の最寄りのバス停は「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」です。



#### 東京・外苑キャンパス

〒107-0061 東京都港区北青山1-7-15

##### 【交通機関】

- JR総武線「信濃町駅」より  
改札を左折、徒歩約5分
- 東京メトロ半蔵門線・銀座線・都営地下鉄大江戸線「青山一丁目駅」より  
0番出口、徒歩約10分

※所要時間はあくまで参考としての標準時間です。

※本学には駐車場がありません。車・オートバイ・自転車での来学はご遠慮ください。

学校法人 瓜生山学園  
**京都芸術大学 大学院**

⟨URL⟩ <https://www.kyoto-art.ac.jp/graduate/>



# 京都芸術大学大学院 芸術研究科

## 【拡張される芸術領域】

社会を動かす  
知恵と技を手に入れる

今や芸術や芸術をとりまく社会の変化は著しく、芸術の専門家に期待されるものも大きく変わっています。そもそも芸術とは、本来、社会から隔絶した特殊な職域ではなく、さまざまな局面で創発的に発揮される知恵と技のことです。

本学大学院では、今日の社会のさまざまな領域で課題を発見し、創造的な提案ができる人材の育成を目指しています。

各専攻、各分野がそれぞれの研究対象に即して実践的指導を行うだけでなく、今日の文明についての批判的思考力を鍛えることで、単なる専門業界への入り口となるだけでなく、新たなアイデア、視点を獲得し、自身の研究者、制作者としての可能性を広げることができます。

## 【創造と研究】

創造の現場と、  
研究の現場の、緊密な連携

多彩な工房やスタジオ、研究センター、さらには劇場施設まで有するこの大学院では「創造の現場」と「研究の現場」がさまざまなかたちで連携し、多くの成果が生まれています。

表現者は、創作だけでなく研究活動にも携わることで、自己の作品を言語化し、より力強い表現を手にすることができます。

一方で、研究者は、表現者たちが芸術作品を生み出していく過程にふれることで、書物の中からは汲み取れない生きた芸術を学ぶことができます。多様な創造や研究が常に間近にある環境は、各自の活動に豊かな広がりをもたらしています。

## 【インキュベーション】

新たな芸術的キャリアを  
育む環境

今日、さまざまな領域で創造的なリーダーシップを発揮できる人材が求められています。

本学大学院では、ICA京都やデザイン工芸研究センターはじめとする研究センターと連携し、大学院生や修了生たちのキャリア構築に向けて、国内外での実践的なプロジェクトを数多く用意しています。

他方で、大学院生たちも、さまざまな国籍や背景を持つ者が集まり、国際感覚を養うことができる環境となっています。

また、長らく日本文化の中心として栄えた京都の大学で学ぶ経験は、東アジア伝統の芸術的成果を今日の社会でどう活かすかについても貴重な示唆を与えてくれるはずです。

この世界を、  
もっとしなやかに

ひたむきに一本道を歩むだけが人生ではありません。  
芸術とは、この世界に新たな生きかたを実現する力です。

既存のマーケットやシステムに身を押し込めるのではなく、  
本当の意味でのクリエイティビティを発揮して、  
枠組みそのものをつくり変えること。

良き師、良き友と交わり、他者との関わりを通して  
自分と社会をつくり変えていくこと。

芸術を志す人は、現実と向き合いながらも、まだ見ぬ世界を察知して、  
道なき道を切り拓き、自分と他者に、  
そしてこの社会に、多様な可能性をもたらしていきます。

京都芸術大学 大学院  
ここには、世界のあらゆる場所をキャンパスにして、  
創造と研究を繰り広げている人たちがいます。

photo: Natsumi Kinugasa

KYOTO UNIVERSITY OF THE ARTS GRADUATE SCHOOL ARTS STUDIES

## 修士課程

# 芸術専攻

[ 対面学習 ]

少数精銳で専門性と実践力を磨き、  
トップアーティスト・研究者への道を拓く

## 芸術実践領域

Contemporary Art Practice

- 油画 ● 日本画 ● 版画 ● 写真・映像 ● 彫刻・立体造形 ● 陶芸
- 染織テキスタイル ● パフォーマンス ● キュレーション・アートライティング

# 芸術環境専攻

[ 対面学習 + オンライン学習 ]

多様性に富む研究課題の探究と  
交流によって、芸術を社会へと還元する

## 情報デザイン・プロダクトデザイン領域

Information Design and Product Design Field

- 情報デザイン ● グラフィックデザイン ● ビジュアルコミュニケーションデザイン
- デザインプロデュース ● プロダクトデザイン

## 映像・メディアコンテンツ領域

Image-Making and Media Content Research Field

- 映像 ● アニメーション ● 映画 ● コンテンツプロデュース
- キャラクターデザイン ● ゲームデザイン ● デジタルアート

## 芸術文化研究領域

Arts and Culture Studies

- 日本庭園研究 ● 文化財保存修復
- 文化財科学 ● 考古学 ● 芸術理論・芸術史
- 文化研究 ● 舞台演劇研究

# 芸術専攻(通信教育)

[ オンライン学習 ]

国内唯一、完全オンラインで  
芸術修士(MFA)が取得できる通信制大学院

## 学際デザイン研究領域

## コミュニケーションデザイン領域

## 文芸領域

## 芸術学・文化遺産領域

## 写真・映像領域

## メディアコンテンツ領域

## 美術・工芸領域

## 博士課程

# 芸術専攻

[ 対面学習 ]

「理論」のみ、  
あるいは「理論」と「制作」の研究により、  
博士号取得を目指す

## 研究

学内外の研究者との連携を視野に入れつつ、  
自らの研究課題を追求し、独自の学問的領域を確立。

## 研究・制作

制作に関わる作家、素材、技法、理論などの研究を進めつつ、  
各分野で制作者としての自立を目指す。

## 研究センター・附置機関との連携

「実践的かつ横断的な教育」の充実を目的とした各研究センター・附置機関主催による実践型授業「プロジェクト」や、藝術立国の理念のもと  
哲学や教育を学ぶ「フィロソフィ(仮)」等を開講。学内外の人材をつないで教育課程の枠にとらわれない研究開発・人材育成を遂行します。



### 文明哲学研究所

本学の建学理念である「藝術立国」の根底にある「藝術とは何か」「人間とは何か」という問いに向き合い、多面的なアプローチで明らかにすることを目指しています。



### ICA京都 Institute of Contemporary Arts Kyoto

国内外の同様なセンターとネットワークを結び、アートの創作・展示・批評・研究をサポートし、留学やレジデンシーなどの交流を促進する交換台のような役割を果たします。



### アルトテック

大学院附属のコマーシャルギャラリーとして、次世代の若い才能を支援しています。ARTISTS' FAIR KYOTOや企業との連携を通じて、修了生の活躍の場を創出しています。

## 文化デザイン・芸術教育領域

Cultural Design and Art Education Field

- 文化創生
  - [ 芸術教育 ] 社会人学習支援 こども芸術教育 福祉とアート 児童文化研究
  - [ 地域文化デザイン ] サーキュラーデザイン 地域プランディング 文化資源活用
- 超域制作学プログラム
  - アートプロデュース(後藤・鬼頭ラボ)
  - アートプロジェクト(保科ラボ)

## 建築・環境デザイン領域

Architecture and Environmental Design Field

- 建築デザイン ● インテリアデザイン ● ランドスケープデザイン
- 都市・地域デザイン ● 日本庭園(設計、保全、活用)

photo: Natsumi Kinugasa



### 日本庭園・歴史遺産研究センター

文化財の調査や保存修復などの受託事業に取り組むほか、公開講座や専門セミナーを開催しています。大学院生もプロジェクトに参加し実践的な力を身につけることができます。



### 舞台芸術研究センター

「京都芸術劇場」を運営し、学内外の研究員および他研究機関との連携を行う当センターは「創造の現場」と「学術研究」との有機的な結びつきを推進しています。

photo: 中尾あづさ



### デザイン工芸研究センター

デザイン工芸研究センターは、工芸の中にデザイン感覚を見出し、またデザインを伝統技術でサポートすることで、日本の工芸を世界へ発信し、新しい芸術人材の育成を行います。